

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8			9

前回の改善計画
利用初期の方に対しては特に意識をしてコミュニケーションを行い不安や困っていることなどを把握できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用初期の方に対して職員のほとんどが意識を持って関わりを持つことができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5	0	1	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	6	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	2	0	9

できている点
利用開始前にはケアマネジャーからの情報を把握し、初期支援の関わりに活かすことができている。また、多くの職員は利用初期の利用者に対して、声かけや関わり方に配慮し不安の軽減に努めている。家族に対しても困りごとを聞くようにしている。

できていない点
育児中の時短勤務の職員は、時間的にミーティングに参加することが難しく状況になっている。家族との関わりが送迎時のみの場合が多く、限られた時間内で不安などの聞き取りが十分にできていないこともある。

次回までの具体的な改善計画
送迎時の関わりの短い時間でも、家族に声かけ(利用者の状況や困りごとなどの相談、日常会話など)を意識的に行い、相談してもらいやすい関係を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日 19:30~20:00

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	4	0	9

前回の改善計画
本人の目標を把握し、小さいしたいことでも日々の関わりの中で実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
「〇〇したい」や「〇〇が食べたい」などの小さな希望は実施できていたが、目標の把握ができていない方もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	3	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	3	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	3	0	9

できている点
「屋上に行きたい」など小さなしたい事は実践できている。かかわった内容などはミーティングを通して振り返りを行い、職員間で共有したり、次の関わりに活かしたりしている。

できていない点
全利用者の目標の把握ができていない。したいことの聞き取りが難しい方には、職員目線で実施したり、選択する機会を作れなかったりしている。

次回までの具体的な改善計画
利用者のしたいことを日々の関りから引き出し、職員全体で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

3. 日常生活の支援

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	1	0	9

前回の改善計画
以前の暮らし方についての情報把握を意識して日々のコミュニケーションを行い、知りえた情報は共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々の関りを通して以前の暮らしの情報収集を行っていた。知り得た情報はミーティングで共有できているが、口頭だけの情報共有が多く記録として残すことがあまりできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	4	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	6	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	1	0	9

できている点
本人の状況に合わせた介護はほとんどの職員ができている。また、本人の声にならない声は表情や仕草などから読み取り言語化や、気持ちや体調の変化に気づきその時に応じた支援ができている。

できていない点
以前の暮らし方については、日々の関りから少しずつ情報収集し、ミーティングを通して共有しているが、全体に情報が伝わらなかったり、情報を忘れていたりして活かしていないこともある。

次回までの具体的な改善計画
以前の暮らし方についての情報収集は継続して行っていき、知り得た情報を記録に残していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	6	0	9

前回の改善計画
事業所が直接接していない時間についてどのように過ごしているかをより深くアセスメントし共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
それぞれの職員が把握するように努めているが、管理者やケアマネジャー、事業所の勤務歴が長い職員が多く、情報を把握しているなどの偏りがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	2	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	3	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	5	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	6	1	9

できている点
本人のこれまでの生活スタイルや、人間関係は日々の関りから情報収集し把握できている。事業所が直接接していない時間の様子はケアマネジャーのモニタリング時の情報や訪問時の家の様子から把握しているが管理者やケアマネジャー、事業所の勤務歴が長い職員などに偏りがある。

できていない点
民生委員や地域の社会資源などの把握は、管理者やケアマネジャーは把握できているが、介護職は関りが少ないため把握できていないことが多い。

次回までの具体的な改善計画
職種や経歴の差で情報の把握に差ができないように、アセスメントシートの見直しを行い記録に残せるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	3	1	9

前回の改善計画	それぞれの利用者の地域資源について情報を集め共有する。
前回改善計画に対する取組み結果	フロア会議時に地域資源についての勉強会を実施したが職種や業務歴の差によって把握している情報の量に違いがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	2	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	6	1	0	9

できている点	利用者の変化の気づきはミーティングで共有し、その時の状態に合わせて柔軟な支援ができている。ニーズに応じた通い、訪問、宿泊のサービスの提供もできている。
--------	---

できていない点	地域資源の活用は、主に管理者やケアマネジャーが担当しているので介護職はあまり接点がなく、情報の把握もあまりできていないことが多い。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	介護職にも地域資源への理解を高めるために勉強会を実施する。
---------------	-------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

6. 連携・協働

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	2	1	9

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の状態やケア方法について検討や疑問などがあればその他のサービス機関からの意見を聞くようにする。	ミーティングを通して利用者の状態を確認し、必要に応じて家族とも相談の上、他のサービス機関に相談している。今年度は口腔内の状態が悪い方に対して、訪問歯科診療の相談をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	4	0	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	1	6	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	3	4	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	2	7	9

できている点
その他のサービス機関との会議はケアマネジャーを通して必要時に実施している。自治体との会議はウェブ会議も活用して管理者が参加している。地域イベントは、コロナ禍になって以来初めてふれあい広場に利用者と共に参加した。

できていない点
新型コロナウイルス感染症のため、地域のイベントの参加や事業所に地域の方が訪れる機会が減っている。地域への会議は役割を決めて参加しているので、介護職は参加できていない。

次回までの具体的な改善計画
事業だけで解決しようとせずに、利用者がどのサービス機関を利用しているかを把握し必要に応じて相談する。また状態やニーズに応じて必要なサービス機関につないでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

7. 運営

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	4	2	9

前回の改善計画	職員が地域について考える機会を設け、職員が幅広い視点を持てるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	フロア会議時に、東中本地域についての勉強会を行い地域への理解を深めるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	3	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	3	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	5	1	9

できている点	利用者や家族、地域の方からの意見や苦情があれば、真摯に受け止めその都度対応を考え運営に反映している。
--------	--

できていない点	コロナ禍のため、地域と協働した取組みが行えていない。
---------	----------------------------

次回までの具体的な改善計画	小規模多機能型居宅介護としての事業所のあり方や方針を共有したり、話し合いをする機会を会議の場に設ける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

8. 質を向上するための取組み

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	3	3	0	9

前回の改善計画
引き続き、ヒヤリハット報告を数多くあげるにより事故の防止や、利用者の状態の変化に気づけるようにする。職員のヒヤリハットに対する意識を替え、気づいたことは終礼時や会議の場で進んで発言する。

前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハットに気づき、ミーティングなどで共有していることもあるが、個人の気づきだけで終わっていることや記録に残せていないこともある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	5	3	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	2	6	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	1	0	9

できている点
施設内研修は毎月フロア会議時に行っている。参加できていない職員には研修書類を回覧し、内容の周知を行っている。
ミーティング時にヒヤリハットの共有や事故毎に検討会を行い、再発防止に努めている。

できていない点
地域の連絡会は管理者が主に参加しており、他の職員は参加する機会がない。
ヒヤリハットを記録に残せていないことがある。

次回までの具体的な改善計画
職員がそれぞれのスキルを伸ばすために、興味のある内容の研修(外部研修やネット研修)に参加できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(19:30~20:00)

9. 人権・プライバシー

出席者 小栗・小林・吉野・桐山・浅野・松田
米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	1	0	9

前回の改善計画	
利用者についての申し送りなどは利用者の側から離れて行うようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
申し送りの際は利用者から離れて行うなど気をつけているが、たまに配慮を忘れてしまうことがある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	1	1	0	9
②	虐待は行われていない	7	2	0	0	9
③	プライバシーが守られている	3	5	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	2	0	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	0	0	9

できている点	
成年後見制度は必要な方がいれば利用している。 利用者情報は利用者の耳に入らないように声の大きさ、場所に気をつけている。 身体拘束や虐待は行っていない。	

できていない点	
失禁などがあった時に「〇〇さんのパットを取ってください」と大きな声で伝えてしまっていることがある。 利用者の行動に「ダメ」と言ってしまうことがある。 排泄表などの記録用紙が利用者の手の届くところ置いたままになっていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	
排泄表などの記録用紙がカウンターの上(利用者の手の届くところ)に置きっぱなしにならないようにする。	